

ベランダ防水施工の手引き

AQ防水type S



㊦ 竹林化学工業株式会社

清掃・洗淨



清掃

施工箇所のゴミや汚れをきれいに掃除してください。

ドレン付近には、ゴミ、砂、汚れなどが溜まりやすいので、特に念入りに掃除して除去して下さい。



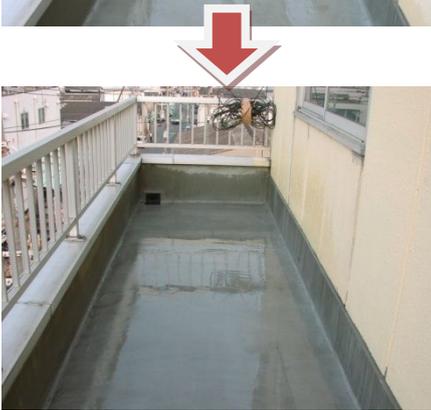
ドレンはカバーを取り外し、内部まで清掃します。



洗淨

ゴミや砂を取り除いた後、施工する箇所についた細かな砂埃をデッキブラシ等を使用し、水洗いしてください。

※高圧洗淨機でも可



乾燥養生

水洗い後、完全に乾くまで放置してください。

(目安)

☀ 夏期 晴天で3日以上

☁ 冬期 晴天で1週間以上

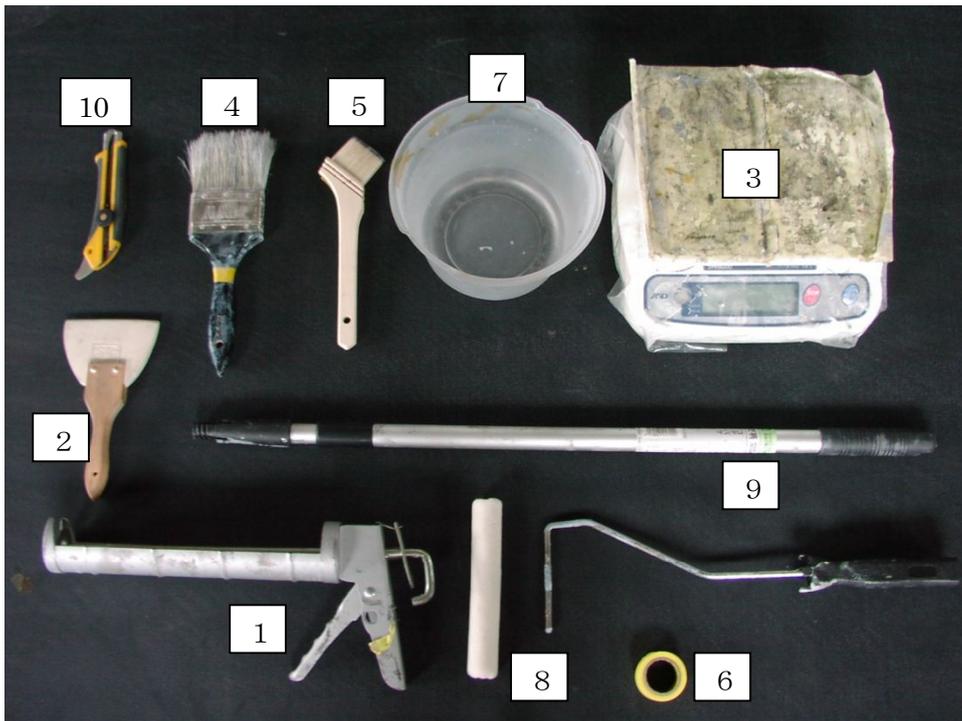
※乾燥不十分な場合、フクレ、ピンホールの原因になります。

養生



写真はマスキング用紙テープを使用していますが、下地が荒い場合はテープ用プライマーと、養生用布テープを併用して養生してください。

使用材料



用意する道具

- 1・コーキングガン
- 2・ゴムヘラ
- 3・ハカリ
- 4・ラスターバケ
- 5・白毛の刷毛
(30～50mm 幅)
- 6・マスキングテープ
- 7・容器(さげ缶等)
- 8・ローラーカバー
ローラーハンドル
- 9・ローラー継ぎ柄
- 10・カッターナイフ
- 11・**タケシール**
速乾ウレタンシーラント
- 12・**タケシール**
AE211プライマー
- 13・**タケシールAQ防水**
typeS
- 14・**タケシールAQトップ**
- 15・**補強クロス**



タケシール速乾ウレタンシーラント

容量 320cc 10本入り/1箱
 硬化時間 2mm厚で6時間(気温20℃)
 タックフリータイム 40分(気温20℃) 色 グレイ

11



タケシール AE211プライマー (2液型水性エポキシ樹脂系)

容量 8kgセット コンクリートモルタルで約27 m²分(2回塗)
 2kgセット コンクリートモルタルで約6.6 m²分(2回塗)
 塗り重ね可能時間 3～4時間以上4日以内(25℃)

12



AQ防水 typeS (1液水性アクリルゴム系防水塗料)

容量 16kg 約10m²分 (0.8kg/m²×2回塗)
 4kg 約2.5m²分 (:)
 塗り重ね可能時間 3～4時間以上 常備色 グリーン・グレイ

13



タケシールAQトップ (1液水性ウレタン変性アクリル塗料)

容量 16kg 約66～80m²分 (0.1～0.2kg/m²×2回塗)
 8kg 約33～35m²分 3kg 約13～15m²分 0.8kg 約3～4m²分
 塗り重ね可能時間 12時間以上 常備色 グリーン・グレイ

14



補強クロス

サイズ 1m幅×50m
 15cm×50m

15

クラック（ひび割れ）がある場合の処理



施工するにあたってクラック等がある場合、クラック部分からまず最初に処理します。

養生

汚したくない部分にマスキングテープを貼り、養生して下さい。
広い面積を養生する場合、布テープ付マスキングテープや新聞紙などを使うと良いでしょう。

タケシールAE211プライマー混合

塗る面積に必要な量を予め計算して、**タケシールAE211 プライマー**を重量比A液:B液=1:1の割合で混合してよくかき混ぜてください。

(注意)

※攪拌不足の場合は硬化不良の原因になります。

※A液とB液を混合した液体は2時間以内に使い切ってください。

タケシールAE211プライマー塗布

よく攪拌した混合液をクラックから2cm位の幅(左右両幅4cm)位を目安に塗布して下さい。

塗布後、約**3~4時間**乾燥させてください。

(気温20℃の場合)

タケシール速乾ウレタンシーラント塗布

タケシールAE211プライマー乾燥後、**タケシール速乾ウレタンシーラント**をコーキングガンで、クラック部分に必要な量充填、塗布してください。

クラック（ひび割れ）がある場合の処理



塗布した**タケシール速乾ウレタンシーラント**が乾かない間に、ゴムヘラ等でクラック部分にすり込む様にならし、平滑に仕上げてください。

クラック（ひび割れ）部分のコーキング処理完成。

次の工程（プライマー塗布）まで約**6時間以上**間隔を取ってください。

- 一般的なクラック（幅1mm程度まで）の処理の仕方を紹介しましたが、クラック幅1mm以上ある場合は、電動サンダーでUカット処理してから**タケシール速乾ウレタンシーラント**を施工して下さい。
- 不陸（段差）が出来てしまっている場合は、**タケモルカチオン A-1（薄付け用）**又は、**タケモルカチオン A-2（厚付け用）**で下地調整を行ってください。

プライマーの塗布1回目



タケシールAE211プライマーを2時間以内で塗りきれぬ量を作成し、入隅、角の部分からハケで、下地面に十分に浸透する様に塗ってください。



広い面はローラー刷毛で、立ち上がりの面から塗って行くと効率よく塗れるでしょう。

- 塗布量は1㎡あたり、0.15kg(150g)塗布して下さい。
- 出入口より遠い箇所から塗り始め、最後に入出口付近を塗布して下さい。
- ローラーの毛丈は4~5mm位の短毛を使うと塗り易いです。



床の面積が広い場合は、ローラー継ぎ柄 1.3m位をローラーハンドルに取り付けて塗布すると楽な姿勢で塗布できます。



タケシールAE211プライマー1回目塗布完了

2回目を塗布するまでの養生期間は、**3~4時間以上4日以内**です。
(気温 20℃の場合)

プライマーの塗布2回目



2回目も1回目と同様に**タケシール AE211 プライマー**を1㎡あたり0.15kg塗布します。1回目と合計して0.3kg(300g)/㎡塗布することになります。
※下地の劣化により、吸い込みが激しい場合は、再度塗布してください。

(注意)

2回目は塗った箇所がわかりにくいので、塗り忘れに注意しましょう。

タケシール AE211 プライマー2回目塗布完了！

- 正しく塗布されていると、全体が**艶のある濡れ色**になります。
- 次の工程までの養生期間は、**3～4時間以上4日以内**です。
(気温 20℃の場合)

クラック部分の処理（補強クロス貼り）



予め補強クロスを、クラック部分のコーキング補修を行った箇所の長さに合わせて少し大きめにカットします。



タケシール AQ 防水 typeS を短毛のローラー刷毛などで薄めに塗布します。



塗布したタケシール AQ 防水 TypeS を塗布後、乾燥しないうちに、カットしておいた補強クロスを貼り付けます。



補強クロスを貼り付け後、直ちに、タケシール AQ 防水 TypeS を塗布し、補強クロスを挟み込みます。



上記のような手順で防水材が乾燥するまでに、この作業が完了する長さを決めて、順番に施工してください。

●次の工程までの養生期間は、3～4時間以上です。

（気温 20℃の場合）

（注意）

1度に広い面積を塗布してしまうと、下塗りのタケシール AQ 防水 typeS が乾燥してしまい、補強クロスが密着しなくなります。

AQ 防水 typeS 塗布 1回目



タケシール AQ 防水 typeS を、最初に入り隅部分や、養生テープを貼り付けた部分の際から先に、ラスター刷毛で塗っていくときれいに仕上がります。

標準使用量は、 $1.6\text{kg}/\text{m}^2$ (2回塗り)なので、1回あたり $0.8\text{kg}/\text{m}^2$ 塗布してください。



広い面は短毛のローラーで、転がすというよりも、滑らす様に塗り広げてください。

(注意)

入り隅部分は、塗料が溜まり易いので、塗布量が均一になるように気を付けてください。



広い床面は、ローラー継ぎ柄を使うと塗りやすいです。

●次の工程までの養生期間は、**3~4時間以上**です。
(気温 20°C の場合)

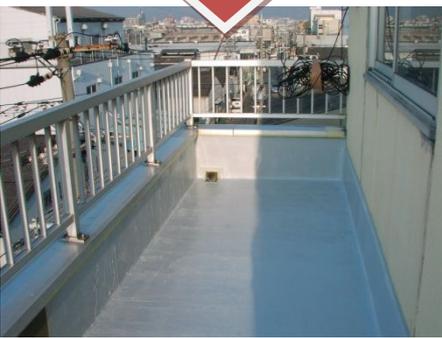
AQ 防水 typeS 塗布 2回目



2 回目も 1 回目と同様、最初に入り隅部分や、養生テープを貼り付けた部分の際から先に、ラスター刷毛で塗っていくときれいに仕上がります。
標準使用量は、1 回あたり $0.8\text{kg}/\text{m}^2$ です。



塗り残しがないように注意してください。



2 回目塗布完了。

● 次の工程までの養生期間は、**3~4時間以上**です。
(気温 20°C の場合)

※AQ 防水 type S は、無希釈で塗装してください。
どうしても希釈する場合は水を 3% 以内で行って下さい。

AQ トップ 塗布



次に、**タケシール AQ トップ**を塗布します。

標準塗布量は、1㎡あたり0.1～0.12kg 1回塗りで仕上げます。

塗装要領はAQ防水typeSと同じ要領で、

入り隅部分より刷毛にて塗布を行ってください。

(注意)

塗布量が多過ぎると、乾燥後に塗膜が割れることがあるので、標準塗布量を必ず守って下さい。



入り隅部分の塗装後、入口より遠い所から、立ち上がり部、床面の平面部の順で塗布してください。

※ローラーは短毛を使用してください。



タケシール AQ トップ塗布完了。

塗布後、指触乾燥まで約30～40分、

軽歩行可能まで約3～4時間です。(気温20℃)

※**タケシール AQ トップ**に、特殊G骨材(別売り)を、混合塗布しますと、ノンスリップ仕上げにも、施工可能です。

養生テープの除去

最後に、養生テープを除去します。強靱な防水塗膜は、テープ切れが悪いので、カッターナイフ等を用いて切れ目を入れてから、養生テープを剝してください。

※深く切りすぎないように注意してください。



完了



施工前



施工後

《注意事項》

- 上記、手引書内に記載されている塗装間隔（乾燥）の時間は、あくまでも目安であって、気温の他に、施工時の場所、天候によって変動します。
- 当、手引き書に記載されている施工方法は、ベランダなどの小面積に施工するための、簡易防水の施工です。屋上防水などの広い面積を施工される場合は、お問い合わせください。
- 製品に関する詳しい説明、注意事項は、カタログをご参照ください。



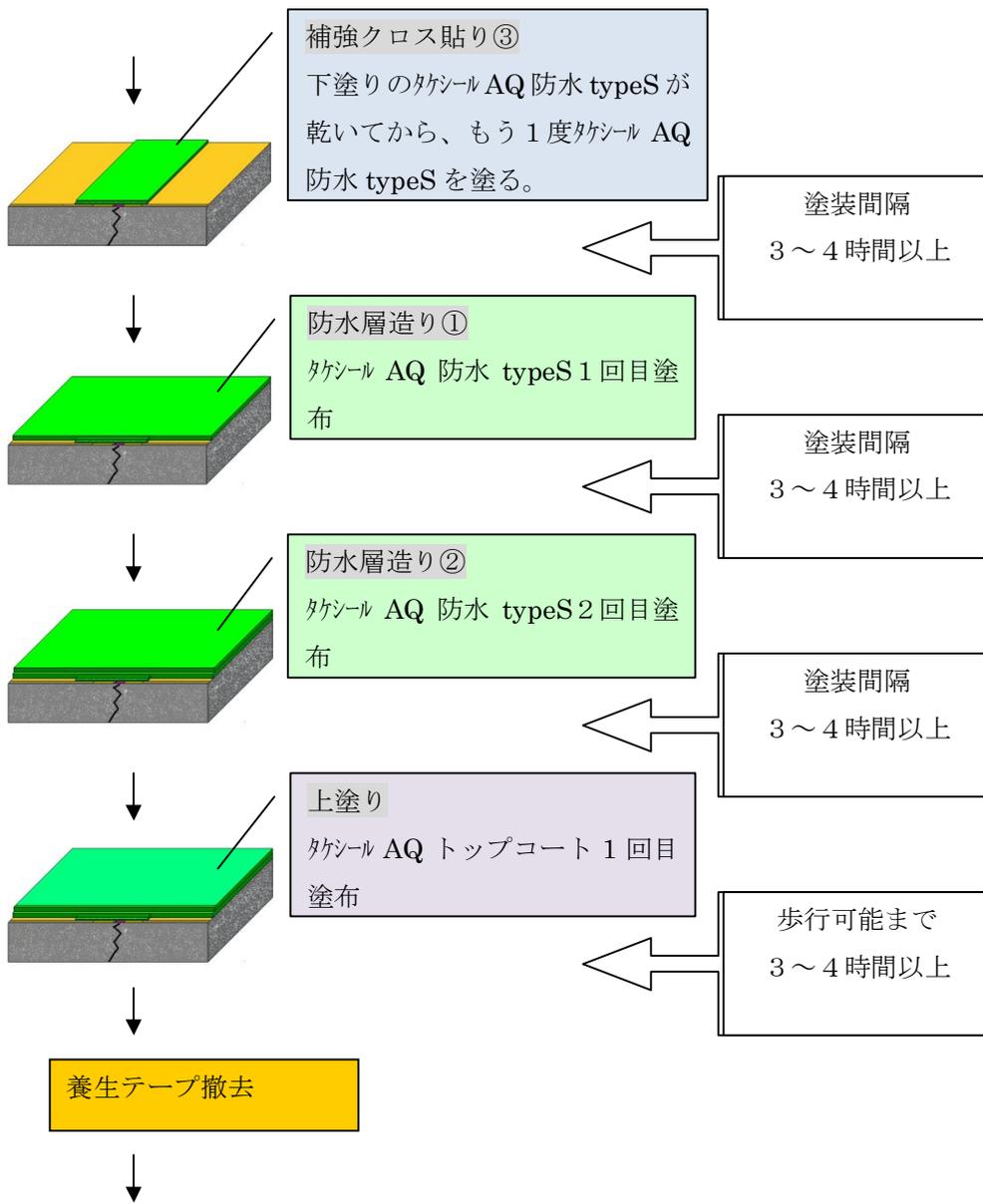
竹林化学工業株式会社

〒577-0836 東大阪市澁川町3丁目1-43

TEL06-6721-6165(代表)

FAX06-6720-7308

<http://www.hct.zaq.ne.jp/takebayasi>



完了

※ クラック（ひび割れ）が無い場合は、上記工程のコーキング処理と補強クロス貼りの工程が除外されます。
本施工手引きをご参照してください。